輝け 未来へ 中番校

No one will be left behind

動き出した令和５年度児童会。立ち合い演説会、選挙終わる！

－ Change（変革）,Challenge（挑戦）,Continue（継続）－

明日は節分。ご家庭では「豆まき」、恵方を向いて巻きずしを食べるという「恵方巻」等、子供達にとって、節分は、ちょっと特別な、そして、楽しみな日だと思います。ご家族の中で鬼役の人もいるかもしれませんね。鬼は夜にやって来るといいますので、夜になると、お家から「鬼は外！」「福は内！」という声が響いてくるかもしれません。節分が過ぎれば、立春となります。春はそこまでやってきています。

さて、昨日、この中番小学校でも次年度へ向けた大切な教育活動がありました。それは、**令和５年度児童会立ち合い演説会及び選挙**です。本校の立ち合い演説会には、特徴的なことがあります。それは、**５年生全員が立候補する**ということです。私が経験した小学校では、５年生に立候補者を募ったり、学級推薦枠があったりする場合が多かった訳ですが、本校の場合は５年生全員が立候補します。単純に人数が少ない、単学級であるからという理由だと思われるかもしれませんが、５年生全員が立候補するということは、本当に**素晴らしい正に伝統と呼ぶに相応しいもの**です。この中番小学校にとって誇れる立派な宝物の一つだと考えています。昨年は、新型コロナウイルス感染症対策からオンラインで行いましたが、今年は、寒さが厳しいこともあり、換気、消毒等、マスクの着用等、感染対策を講じて多目的室で行いました。会場に入った時の張りつめた緊張感はとても心地よく感じました。前面に演説する為の一段高い台、その背後に選挙ポスター、左手には本年度児童会役員、フロアーには４年生、５年生、６年生が演説台の方を見つめています。当然、司会進行をするのは本年度児童会役員です。５年生が一人ずつ、演台に向かい、自分自身の中番小学校への思いを、考えを、自分の言葉で述べていきました。一人が演説を終わる度にメモを取り、各自投票に備えていました。演説では、どんな中番小学校にしたいか、その目指すべき方向性、そのために自分がすることは何か、その具体的な施策・方策を伝えていました。この立会演説会に向けて、自分で演説内容を考え、まとめ、どのように伝えようか等、一人一人が、きっと思い、悩み、考え、一つの発表原稿を創り出したということは価値あることだと思います。演説にあたっては、緊張もするでしょう、不安や心配もあるでしょう。でも、**５年生は、堂々とした立派な姿であり、本当に素晴らしい姿を見せてくれました。**そのような５年生に心から拍手を贈りたいと演説を聴いて思いました。**投票にあたっては、６年生は次の時代を託せる人に、５年生はやる気と情熱、パワー溢れた人に、４年生はついていきたいと思う憧れの人に、自分の票を投じたことでしょう。選挙という自分達の未来を決める活動に、公正・公平な視点から、参画するその体験は子供達にとって、大変貴重なものと考えています。**５年生には、今のこの気持ちを大切に持ち続け、２月、３月と過ごし、そして、来るべき４月の新６年生による児童会の運営、中番小学校を力強く牽引する機関車として、その力をいかんなく発揮して欲しいと思います。その為に、その出発に備え、今から全身全霊をかけて心と体の準備を続けて欲しいと願っています。全員立候補、その経験と体験は、５年生にとってかけがえのない宝物になると思います。頑張った５年生に心からのエールと拍手を贈りたいと思います。

暦の上では、春が近づいて来たとはいえ、新型コロナとインフルエンザの同時流行については、まだまだ心配な状況は続いていきます。中番小学校は、日々の感染症対策を徹底し、「**恐れず、正しく、適切に。**」対応していきます。保護者の皆様にはこの状況についての深いご理解とあたたかいご支援とご協力を引き続き賜りますようお願い申し上げます。**３学期、元気で逞しい子供達の姿に期待しております。**中番小学校は、子供達、保護者の皆様、地域の皆様と共に歩んでいきます。

学校通信　№５６　令和５年２月２日　小野市立中番小学校長　田中康善